

いきいき マインタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します



大安赤米 (大安町高柳)

育てよう思いやり、咲かせようやさしさ

メシエレ花植え

10月5日(月)6日(火)、石樽小学校でメシエレいなべ大安地区と子どもたちによる花植えの活動が行われました。これは通学班の集合場所に花を飾り、思いやりややさしさを育ててもらうことが目的です。2005年から大安町内の各小学校で毎年活動が続け、今年で16回目を迎えました。この日は、メシエレいなべのメンバーと通学班の班長がプランターに花を植えて、子どもたちの目標が書かれたプレートを飾りました。

代表の川本香代子さんは「今年はコロナウイルスの影響で地域との触れ合いの場が減っていたので、子どもたちと一緒に活動ができて嬉しい」と話していました。



1.2.3. メシエレのメンバーに教わりながら、小学生たちは花を優しく持って植えていました

みんなのエールで駅を彩りました

北勢線応援企画展

新型コロナウイルス感染症の影響で鉄道の乗客数が減少していることを受け、Instagramを活用した北勢線を応援する企画展「#北勢線エール」を開催しました。

北勢線を応援する写真に「#北勢線エール」を付けてInstagramで投稿を募集したところ、335件の応募投稿があり、その中から市が厳選した100枚の写真が10月1日(木)～11月3日(祝・火)の間、北勢線の阿下喜駅と大泉駅に展示しました。

自身も応募し、展示を見に来た嘉山智之さんは「皆さんの写真から、北勢線とそれを取り巻く地域が好きなことが伝わってきます」と話していました。

1. この日初めて電車に乗った男の子。家族で阿下喜駅の展示写真に見入っていました 2.3.4 Instagramに投稿された写真



市内の小中学校で活用

翻訳機の贈呈

9月28日(月)、株式会社ロイヤルが、いなべ市にAI翻訳機を贈呈しました。市内で外国籍の住民が増えてきていることから、学習のサポートに活用してもらえるようにと贈呈を決めたということです。

株式会社ロイヤルの岡田取締役は「外国籍の子どもたちが困らないよう、教育現場で活用してほしい」と話し、小川教育長は、「学校の負担を減らすこともできる」と感謝していました。



翻訳機の贈呈式

優しい音色が屋内に響く

ハープ体験

10月11日(日)、シビックコアでハープ体験が行われました。講師は藤原町立田地区でハープ教室を開講している藤本弓依さん。参加者15人は12弦のベイビーハープで、「ふるさと」や「きらきら星」など馴染みのある楽曲を楽しみながら奏でました。

県内からグループで訪れた女性は「ハープの音に癒されました。一日中触っていたい」と話し、岐阜県から親子で参加した児童は「きれいな音を鳴らせて楽しかった」と話していました。



1. 膝に乗せられるベイビーハープ 2. 講師に教わりながら、演奏を楽しむ参加者

災害時の心得を学ぶ

保育園で防災訓練

10月16日(金)、三里保育園で防災訓練が行われ、給食室から火事が発生した想定で訓練に取り組みました。

毎年、9月の防災の日に合わせて行われていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で10月に延期しましたが、例年は、園庭の1カ所に集合するように避難していましたが、密集を避けるため、クラスごとに分かれて避難するように変更しました。

消防隊員から、「避難するときには、周りの声や音が聞こえるよ

1. 走らず話さずゆっくり避難 2. クラスごとに分かれて避難し、みんな静かに待機 3.4. 消防隊員による話や放水の様子



うに、静かに行動しましょう」と話があり、子どもたちは真剣に聞いていました。また、保育士による通報や消火器の訓練も行われ、大人も防災への意識を高めました。

最後に消防隊員による放水訓練を見学した子どもたちは、隊員の素早い動きと放水の迫力に驚き拍手する様子が見られました。